



小麦(南相馬市)

そうそう農林 NEWS No.17

令和8年5月 福島県相双農林事務所

MENU

- P.1 浪江町大規模畜産施設の落成式が開催されました
- P.2 小高東部地区の農地整備が完了しました(津波被災農地)
- P.3 令和7年度相馬地域農業普及推進懇談会を開催しました
- P.3 春先の低温・凍霜害対策を推進しました
- P.4 相双地方の森林保全巡視員が活動を開始!
- P.4 令和8年度「畑の学校」第1回ジャガイモの種芋植え体験を実施しました!
- P.5 檜葉小学校「緑の少年団」の結団式が実施されました!
- P.6 浪江町専任職員の業務をご紹介します
- P.7 林野火災に嚴重な警戒が必要です!
- P.8 特集

浪江町大規模畜産施設の落成式が開催されました



テープカットの様子

令和8年4月9日(木)、福島県浪江町において、国内最大級の酪農施設「シャインコースト・ファーム」の落成式が開催されました。

本施設は、乳牛約2,000頭の飼育が可能であり、搾乳ロボット^{※1}やバイオガスプラント^{※2}などの先進技術を導入した、県内の生乳生産を担う中核的な施設です。安定的な生乳生産だけでなく、耕種農家と連携した飼料生産や堆肥の有効活用を通じて、地域における循環型農業の拠点となることが期待されています。

双葉農業普及所では、関係機関と連携して、生産技術向上及び人材育成の支援を行うとともに、地域での飼料作物や堆肥等の円滑な耕畜連携の実現に向けて支援してまいります。

※1 搾乳ロボット：乳牛の搾乳作業を自動で行うシステム。

※2 バイオガスプラント：家畜糞尿などの有機物を発酵させてエネルギー及び肥料を生み出す施設。

双葉農業普及所

小高東部地区の農地整備が完了しました(津波被災農地)

当所では、東日本大震災からの復興に向け、農業の生産性向上と担い手への農地集積・集約化を進めるため管内43地区において「ほ場整備事業」を行っています。

今回は、令和7年度に事業が完了した小高東部地区（南相馬市小高区）をご紹介します。

整備前の小高東部地区では、農地や農道が狭く、水路も十分に整備されていない状況でした。さらに、震災による津波で流入した土砂や瓦礫、地盤沈下などの影響に加え、福島第一原子力発電所事故に伴う避難により、営農が困難な状況でした。また、農業を断念する農家も見られ、営農条件が不利な農地では、耕作放棄による農地荒廃が懸念されていました。

こうした課題を解決するため、平成28年度からほ場整備事業を実施し、83.7haの農地について、従来の小区画（10a）から大区画（1ha）へ再編しました。あわせて、農道や用排水路の整備、

暗渠排水^{あんきよ}（地下に管を埋設し、土中の余分な水を排水する仕組み）を設置するなどを行い、営農効率の向上を図るとともに、畑作への転換が可能となるよう農地の汎用化を進めました。

その結果、大豆の収量が大幅に向上し、地域では畑作への展開に対する期待が高まっています。

さらに、担い手（3団体）への農地集積が進み、集積率は1.4%（事業実施前）から96.9%（令和7年度）へ大きく向上しました。

地元の生産組合からは、「大区画化と農地集積により農業の生産性が向上した」「排水対策により畑作への可能性が広がった」「土壌改良により生育障害が軽減され、収量が改善したことで、今後の営農への意欲が高まった」といった喜びの声が寄せられています。

引き続き、地域農業の復興と持続的発展に向け、生産性を高める農地整備に取り組んでまいります。



被災した農地



整備後の農地



大豆の播種作業

農村整備部

令和7年度相馬地域農業普及推進懇談会を開催しました

令和8年2月17日(火)、南相馬市小高区の小高生涯学習センター(浮舟文化会館)において令和7年度相馬地域農業普及推進懇談会を開催しました。

懇談会では、新規就農者など担い手の確保・育成や企業参入の推進など、担い手不足の解消に向けた取り組みを中心に、令和7年度の普及指導活動の報告や、今後取り組むべき課題について、市町村、農業委員会、土地改良区、JA、相馬地方農業士会と協議を行いました。

農業振興普及部からは、令和7年度農業普及活動成果発表会の発表事例「相双地域にこよう！～雇用就農促進による復興の実現～」の他、相双地域新規就農・企業参入推進検討会議の活動内容や、就農支援事例として地域おこし協力隊制度の活用を報告しました。

また、JA ふくしま未来より、相馬市で令和6年度にきゅうり栽培を開始した新規就農者への支援対応をまとめた、「TAC・出向く活動パワーアップ大会2025」の発表事例『自己資金ゼロでも、「ここで農業を始めたい」実現に向けた生産者とJAとの歩み』について発表いただきました。

出席者からは、担い手不足や高齢化の現状、各市町村における就農フェア等でのPR活動や就農支援の対応状況等が報告されました。また、関係機関が喫緊の課題である担い手の確保・育成に向け、今後も相互に連携して取り組んでいくことを確認しました。



令和7年度相馬地域農業普及推進懇談会の様子

農業振興普及部

春先の低温・凍霜害対策を推進しました

当所では、令和8年3月19日(木)から5月31日(日)まで相双地方防霜対策本部を設置し、市町村や農業関係団体等と連携して、遅霜等による農作物被害の未然防止に努めています。

春先は、気温が平年よりも高く推移したことから、日本ナシなどの農作物の生育が進んでおり、遅霜へのリスクが高まる中、農業者をはじめとする関係者の皆様に被害防止に向けてご尽力いただいております。

これから農作物の栽培管理が本番の時期となりますが、気象庁の長期予報によれば、今後も気温は平年よりも高くなると見込まれております。当所では、農業経営の安定を図るため、引き続き、気象を踏まえた技術支援など、農業災害対策に万全を期してまいります。



【農業技術情報はこちら】



防霜対策本部設置に伴い看板を設置した際の写真

農業振興普及部

相双地方の森林保全巡視員が活動を開始！

令和8年4月1日(木)、南相馬合同庁舎において、相双管内で活動される森林保全巡視員の方々に辞令を交付しました。

あわせて、管内において長年にわたり森林保全巡視員として活動いただいた飯島一夫氏と河原修一氏の功績に対し、感謝状を贈呈しました。

森林保全巡視員の業務は、保安林や県営林を対象に、気象災害、病虫獣害、無許可の伐採や開発行為などの早期発見を目的とした巡視や、山を訪れる方などに対する林野火災の予防の啓発など多岐にわたります。

引き続き、森林保全巡視員の皆様と連携を図りながら、森林の適正な保全・管理に努めてまいります。



令和8年度森林保全巡視員の皆様

森林林業部

令和8年度「畑の学校」第1回 ジャガイモの種芋植え体験を実施しました！

令和8年4月15日(水)、南相馬市立石神第二小学校の6年生児童が、今年度第1回目の活動として、ジャガイモの植付方法や栽培方法について学びました。

この事業は、子どもたちに豊かな感性と農業・農村への関心を持ってもらうとともに、「食・命の大切さ」「農業・農村地域の大切さ」「自然環境の大切さ」について理解を深めてもらうことを目的として、『「畑の学校」実践モデル事業』を実施しているものです。

当日は、ジャガイモの育て方について地元の講師の方に説明を受けた後、種芋を手に取り、直接畑に植える体験を行いました。植付け体験では、先生や講師の方の指示に従いながら列になり、楽しそうにじゃがいもを植える児童たちの姿が見られました。

体験を終えた児童からは、「ジャガイモについて詳しく知ることができた。ジャガイモがトマトの仲間とは知らなかったの



説明を受ける児童



ジャガイモ定植体験の様子

で驚いた」「ジャガイモを植えるのは初めてで楽しかった。収穫が楽しみ」といった声が聞かれました。体験を通して作物への理解が深まり、農業の楽しさを感じてもらえた様子でした。「畑の学校」では、今後約半年をかけて今回植えたジャガイモの収穫やブロッコリーの定植・収穫活動等を行っていく予定です。第2回活動の収穫まで、引き続きジャガイモの生育を見守っていきます。

農村整備部

檜葉小学校「緑の少年団」の結団式が実施されました！

令和8年4月22日（水）に檜葉町立檜葉小学校にて「緑の少年団」の結団式が行われました。6年生児童4名が、元気いっぱい「誓いの言葉」を宣誓し、進行を務める児童の姿からは、頼もしさが感じられました。檜葉小学校「緑の少年団」は、平成13年に結成され、東日本大震災による一時活動休止を経て再開し、今年で25年目を迎えます。

「緑の少年団」は、「緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる」活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間の育成を目的とした団体です。令和8年度現在、県内では80団体、約4,000名の団員が森林や自然に関する学習、緑の募金活動、緑化行事への参加、収穫祭、キャンプ活動など多岐にわたる活動を行っております。

昨年度の檜葉小学校「緑の少年団」では、植樹（ユズの苗）や木工教室など緑と親しみながら活動してきました。

檜葉小学校「緑の少年団」の活動により、檜葉町や福島県の豊かな自然が次世代へ継承されていくことを期待しております。



緑の少年団集合写真



「誓いの言葉」宣誓

富岡林業指導所

浪江町専任職員の業務をご紹介します

県では、双葉管内の営農再開を推進するため、令和2年度から各町村に専任職員を配置しています。

浪江町では、水稻をはじめ、ニンニク、タマネギ、長ネギ、トルコギキョウ、イチジク、リンゴ等の園芸品目や、畜産分野では酪農、飼料作物など様々な品目で営農再開が進んでいます。

浪江町専任職員は、栽培技術指導だけでなく、地域計画の策定支援や出荷制限解除に向けた水稻の試験栽培のサポートなど、地域に密着した活動を行っています。

地域計画の策定支援では、浪江町の営農可能地域において、地域住民や担い手を参集した座談会を開催するとともに、目標地図の作成支援を行っています。

水稻の試験栽培は、室原及び津島における出荷制限の解除に向けて実施しており、令和7年度は地元住民と協力し、田植えから収穫まで手作業で行いました。

加えて、浪江町は外部法人の参入が盛んであることが特徴であり、そのサポートも行っています。参入目的のヒアリングやほ場の確認、地域への紹介等を行い、スムーズな参入を支援しています。



水稻試験栽培の田植え



地域計画座談会

双葉農業普及所

「そうそう・6次化ネットワーク」 会員を募集しています！

そうそう・6次化ネットワーク 会員大募集！！

6次化とは…
枠組みを超えた農業者や産学官民などの多様な主体が連携・融合した新たな地域産業を創出する幅広い取り組みのこと！

- 自家栽培の生産物を手作り商品に変えて販売したい！
- 根元の生産物を使って新しい食品を作りたい！
- 新しい商品を扱って流通・販売したい！

興味のある事業者の皆さん、ぜひそうそう・6次化ネットワークに参加しませんか？

個人・団体・法人どなたでも参加できます。登録料や会費は一切不要です！

福島県で行っている6次化関連の支援

商品開発支援	人材育成支援	販路開拓支援
<ul style="list-style-type: none"> ○ふくしま地域産業6次化サポートセンター <ul style="list-style-type: none"> ・各種相談、案内・派遣、マッチング、販路開拓、ビジネスモデルに係る支援 ・施設設備に係る支援 ○県産品加工支援センター <ul style="list-style-type: none"> ・食品、調味料、流通加工にかかる技術支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○6次化創業塾 <ul style="list-style-type: none"> ・E化に取り組みたい方や、事業拡大を志す方を対象とした、専任講師や経験豊富な講師が授ける受講料無料の講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふくしま満天星 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外でのテストマーケティング ・商品改良や販路拡大支援 ・作業クランプリ国際 ○ふくしまフェスタ <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の商業施設等で、農産物などの魅力を伝える販路イベント

県では（農林水産物の）モニタリング検査などのほか、相双農林事務所の農産物の安全性や品質の確保などの魅力発信に取り組んでおり、その発信も応援します。

メルマガによる各種情報提供や交流会を実施しています

裏面申込書を郵送・FAX・メールのいずれかでご提出ください！
詳しくはこちら→<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260/rojukijka.html>

お問い合わせ先
【そうそう・地域産業6次化推進会議 事務局】
福島県相双農林事務所 企画部 地域農林企画課
【Tel】0244-26-1133 【Fax】0244-26-1181
【Mail】kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

公式 Instagram 配信中！

相双農林事務所 公式Instagram

SOUSOU_NOURIN

- ✓ 相双地方産農林水産業の魅力
- ✓ 相双農林事務所の取り組み
- ✓ イベント情報 など

様々な情報を発信しますので、ぜひフォローお願いします！

林野火災に嚴重な警戒が必要です！

山では木々が芽吹き、新緑の季節を迎えています。この時期、レジャーなどで森林を訪れる方が増えるため、林野火災へのさらなる警戒が必要です。

令和7年に岩手県大船渡市で発生した大規模森林火災を契機として、今年から1月から5月までの間「林野火災警報」と「林野火災注意報」の運用が開始されました。林野火災の大半は、たき火など人為的な要因によるものです。制度の周知と定着を図るため、改めて次のとおりお知らせしますので、引き続き林野火災予防へのご理解とご協力をお願いします。

なお、発令状況は各広域消防本部のホームページや各市町村の防災メール等で確認できます。警報等発令時には以下の行為が制限されますので、ご確認のうえ、火の取扱いには十分ご注意ください。



【林野火災注意報・林野火災警報が発令されたときの制限】

- (1) 山林、原野等で火入れをしないこと。
- (2) 煙火（花火等の火薬類）を消費しないこと。
- (3) 屋外で火遊びまたはたき火をしないこと。
- (4) 屋外で引火性または爆発性の物品その他の可燃物の付近で喫煙をしないこと。
- (5) 山林、原野等において喫煙しないこと。
- (6) 残火（たばこの吸殻を含む。）、取灰または火粉を始末すること。
- (7) 屋内で火（ライターやろうそく等）を取り扱うときは、窓、出入口を閉じて行うこと。

森林林業部

担当者コラム

今回の表紙には、南相馬市の麦畑の風景を掲載しました。

南相馬市では、小麦がいよいよ収穫の季節を迎えます。日差しを受け風に揺れる麦畑は、相双地方に初夏の風景をもたらしています。

今年度も本誌では、相双農林事務所の活動や地域の話をお届けしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



福島県相双農林事務所



〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目
30番地

Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181

E-mail : kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/3626

特集

▶ 魅力あふれる！“そうそう”のとおき

相双地方産の農林水産物を使用した加工品（6次化商品）をご紹介します★

「ふくしま満天堂グランプリ2025」受賞商品紹介

ふくしま満天堂とは

県産農林水産物を活用した6次化商品の共通ブランド「ふくしま満天堂」。テストマーケティングや研修などを通じて、商品開発や販路拡大を支援しています。

「ふくしま満天堂」に登録された商品の中から、バイヤーによる一次審査を経て、10商品が「ふくしま満天堂プレミアム」に選ばれました。

さらに、この「ふくしま満天堂プレミアム」の中から、消費者投票と県内有識者による審査を経て、「ふくしま満天堂グランプリ2025」の各賞（グランプリ・準グランプリ・特別賞）が決定しました。



ふくしま満天堂グランプリ2025 準グランプリ

飯館村の牛飼いが煮込んだ、牛角煮

「飯館牛」の産地として知られる飯館村で畜産業と精肉店を営む作り手が手がけた、飯館村産黒毛和牛のみをたっぷり使用した角煮です。

脂の旨みも一緒にじっくり煮込むことで、よりコク深く、やわらかく仕上がります。お肉の旨みと脂の甘みがしっかり感じられ、甘辛い味付けでご飯が進む一品です。



肉のゆーとぴあ（飯館村）

＊お問合せ：090-2993-6062

＊販売場所：福島県観光物産館

いいたて村の道の駅までい館 等



NIKU_UTOPIA

ふくしま満天堂プレミアム

あおさとえごまのあられ

松川浦産の粉末あおさ（ヒトエグサ）と、浪江町産の粉末えごまを贅沢に使用。

あおさとあられの相性を引き出すため、1年以上にわたり試作を重ねました。

あおさの磯の香りと、えごまの香ばしさがやみつきになる、素材の風味を活かしたヘルシーなあられです。ひと口サイズで食べやすく、おやつとしてはもちろん、お酒のお供にもぴったりです。



株式会社マルリフーズ（相馬市）

＊お問合せ：0244-36-3791

＊販売場所：セデッテかしま、道の駅そうま

浜の駅松川浦（相馬復興市民市場）等



STEPAPZ.MATSUKAWAURA